

## 【H28 年度の外部資金獲得状況】(4/11 時点)

大学教員は、教育と研究を主たる業務としています。文科省からの交付金が減少していく中で、外部資金の獲得は、研究を推進していくために必須であり、外部資金なしでの研究実施は困難です。

研究推進を目的とした外部資金には、様々なものがあります。その中で、総額が最も大きく、全教員が獲得を目指しているのは、文部科学省の科学研究費です。以下に科学研究費の目的と選考方法を示します。

「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させることを目的とする「競争的研究資金」であり、ピア・レビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うものです。」（日本学術振興会）

今年度、環境建設工学科(専任教員 21 名、兼任教員を含めると 26 名)では 21 件が採択されています。科研費は予算規模に応じて、基盤研究 A, B, C(A で 5 千万円以下、B で 2 千万円以下、C で 5 百万円以下)などに区分されています。

科研費以外にも国の他の省庁(内閣府、国交省関係、環境省関係)からの研究助成や韓国の国の機関の研究助成にも採択されるなどしています。以下に 4 月 11 日時点での外部資金獲得状況(科研費を含めて、計 36 件)を示します。

### 【科学研究費補助金】

#### 【基盤研究 A】

科学研究費補助金 基盤研究 A 「熱・水・応力・化学連成場の岩盤透水・力学特性の解明と連成数値シミュレータの開発，（研究代表者 安原英明）」，（H26－29 年度），合計 4,121 万円

#### 【基盤研究 B】

科学研究費補助金 基盤研究 B 「微生物代謝を利用したコンクリートのひび割れ等の補修方法の実用化に関する研究，（研究代表者 氏家 勲）」，（H27－30 年度），合計 1370 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B 「年代効果等種々の影響を含む液状化強度の統一的解釈と新たな判定法の提案，（研究代表者 岡村未対）」，（H28－30 年度），合計 1430 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B 「MFD を用いたネットワーク交通流ブレイクダウンリスクマネジメント，（研究代表者 吉井稔雄）」，（H27－29 年度），合計 1350 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B 「仮想津波観測実験に基づく海洋レーダ津波計測性能検証と津波防災への展開，（研究代表者 日向博文）」，（H28－30 年度），合計 1420 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B 「次世代シーケンサーを活用した流域生物の全種網羅的な遺伝的多様性評価法の開発，（研究代表者 渡辺幸三）」，（H28－30 年度），合計 1872 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B(海外学術調査) 「ヒマラヤ水系諸国における巨大災害に対する戦略的総合防災研究の展開，（研究代表者 矢田部龍一）」，（H26－28 年度），合計 1450 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B(海外学術調査) 「蚊に着目したデングウイルスの空間伝播動態の解明と生態学的防御，（研究代表者 渡辺幸三）」，（H28－30 年度），合計 1672 万円

科学研究費補助金 基盤研究 B 「課題発見解決型フィールドワーク教育の多面的評価方法の構築，（研究代表者 松村暢彦）」，（H28－30）

### 【基盤研究 C】

科学研究費補助金 基盤研究 C 「稠密日射量観測データとデータ同化手法を用いた雲の形成過程に関する研究, (研究代表者 森脇 亮)」, (H27-29 年度), 合計 468 万円

科学研究費補助金 基盤研究 C 「センサ・データフュージョンを利用した社会インフラ点検システムの高度化, (研究代表者 中畑和之)」, (H27-29 年度)

科学研究費補助金 基盤研究 C 「大規模流量・生物データ解析による攪乱レジーム-河川生物群集関係の解明, (研究代表者 三宅 洋)」, (H26-28 年度), 合計 380 万円

科学研究費補助金 基盤研究 C 「災害想定に関わるメタ無知とリスクガバナンスに関する研究, (研究代表者 羽鳥剛史)」, (H28-30 年度), 合計 370 万円

### 【若手研究 B】

科学研究費補助金 若手研究 B 「材料分離の影響を受けた表層コンクリートの耐久性能推定手法に関する研究, (研究代表者 河合慶有)」, (H27-28 年度), 合計 429 万円

科学研究費補助金 若手研究 B 「最大エントロピー原理を用いた橋梁劣化予測分布導出モデル, (研究代表者 全 邦釘)」, (H28-29 年度), 合計 330 万

科学研究費補助金 若手研究 B 「水環境 DNA を活用した迅速で網羅的な水生昆虫の流域内種多様性の解明, (代表者 八重樫咲子)」, (H28-30 年度), 合計 416 万円

### 【挑戦的萌芽研究】

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 「堤体表面の微小変形情報を基にした洪水時破堤危険度のリアルタイム評価法構築, (研究代表者 岡村未対)」, (H27-28 年度), 合計 290 万

科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 「適応進化を考慮した気候変動下の遺伝的多様性予測モデルの開発 (研究代表者: 渡辺幸三)」, H26-28 年度, 合計 390 万円

科学研究費補助金 挑戦的萌芽 (工学) 「ナラティブ・アプローチによる土木技術者のリーダーシップ学習教材の開発, (研究代表者 松村暢彦)」, (H28-29)

### 【特別研究員奨励費】

科学研究費補助金 特別研究員奨励費 「日本産河川昆虫カワゲラの種多様性の系統発生的再評価: DNA と形態に基づく種分類, (研究代表者: 渡辺幸三)」, (H27-28 年度), 合計 156 万円

科学研究費補助金 特別研究員奨励費 「環境水の次世代 DNA 解析による迅速で正確な流域内の種多様性と生息分布の評価, (代表者 八重樫咲子)」, (H28-30 年度), 合計 390 万円

### 【内閣府】

内閣府 革新的研究開発推進プログラム (ImPACT) (研究開発プログラム), 「光超音波法による FRP きずの計測技術の開発, (中畑和之)」, (H27-29 年)

### 【国土交通省関係】

国土交通省道路局・道路政策の質の向上に資する技術研究開発, 「市町村のニーズに応える革新的な点検支援システムに関する研究開発, (研究代表者 氏家勲)」, FS 採択, 920 万円

### 【環境省関係】

環境研究総合推進費 「沿岸から大洋を漂流するマイクロプラスチックの動態解明と環境リスク評価,

(研究分担者 日向博文)」、(H27-29 年度), 合計 3000 万円 (概算)

#### 【韓国・鉱物資源研究所】

Basic Research and Development Project of the Korea Institute of Geoscience and Mineral Resources, 「Constraining key factors that control the evolution of rock permeability under high temperature, stress and pH conditions, (研究代表者 安原英明)」, (H27-29 年度)

#### 【科学技術振興機構】

科学技術振興機構 JST 国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-RAPID) 「カトマンズ盆地における地盤液状化の実態解明と液状化強度特性および揺れやすさ分布の調査, (研究代表者 岡村未対)」, (H27-28 年度), 合計 520 万円

#### 【日本学術振興会】

日本学術振興会 二国間交流事業オープンパートナーシップ共同研究, 「フィリピンにおける Dengue 熱媒介蚊の生態疫学研究: 遺伝子解析から生態モデリングまで, (研究代表者 渡辺幸三)」, 2016.04 - 2018.03, 合計 520 万円

#### 【日本学生支援機構】

日本学生支援機構 JASSO 海外留学支援制度 「研究プロジェクトを通じた国際技術者養成プログラム, (プログラム代表者 岡村未対)」, (H28 年度採択見込み), 合計 600 万円

#### 【河川財団】

河川財団 河川整備基金助成事業, 「河川堤防の安全性評価技術の向上, (代表者 岡村未対)」, 2016.04 - 2017.03

河川財団 河川整備基金助成事業(指定課題) 「植生型水制工を活用した河道制御法に関する研究, (研究代表者 門田章宏)」, 2016.04 - 2017.03

河川財団 河川整備基金助成事業, 「水環境 DNA の次世代シーケンシング解析による流域種多様性の迅速・正確な評価, (代表者 八重樫咲子)」, 2016.04 - 2017.03, 合計 100 万円

#### 【港湾空港総合技術センター】

港湾空港総合技術センター (SCOPE) 研究開発助成, 打撃振動測定による PC 栈橋の損傷モニタリング技術の開発, (研究代表者 森伸一郎)」, 200 万円

#### 【岩谷直治記念財団】

(公財) 岩谷直治記念財団科学技術研究助成 「シェールオイル・ガス開発時のプロパント処理亀裂の長期透水挙動評価, (研究代表者 安原英明)」, (H28 年度), 200 万円

#### 【ニッセイ財団】

ニッセイ財団 環境問題研究助成 「次世代 DNA シークエンス解析が明らかにする水環境中の全種多様性, (研究代表者: 八重樫咲子)」, H27-28 年度, 合計 120 万円

#### 【民間との共同研究など】

NEXCO 西日本四国支社, 「熱変質の影響による和泉層群切土のり面安定評価手法の研究, (研究代表者 NETRA Prakash Bhandary)」, (H27-28), 400 万円

(株)テクノシステム 「高精度波浪推算システムの開発と実用化の研究, (研究代表者 井内國光)」, (H27.9-28.8), 49 万円